



相ノ木っ子だより



令和3年度
5月号
上市町立
相ノ木小学校

落ち着いて本と向き合う時間

「あー、校長先生」

各教室の様子を見て回っていると、よく低学年の子供たちから声をかけられます。1年生の中には、「園長先生」といった声もあり、わたしの存在感もまだまだで、もっと自己研鑽に励み、醸成された落ち着きといったものを身に付けなければならないと考えます。これが上学年の教室ともなると、長年にわたって毎日のことですので、目線が合うことはありますが、子供たちは動じることなく学習に集中しています。その様子からは、学びを積み重ねてきた相ノ木っ子の貫禄と言いますか、小学生としてのベテラン感が醸し出されています。

入学してから1か月以上が経った1年生。先述のやり取りのようなかわいらしさももちろん健在で、元気に学校生活を送っていますが、落ち着いた学習となりますと、もう少し時間をかけなければなりません。しかし、話を聞いている態度や意欲的な発言から、徐々にではありますが、1年生も相ノ木っ子としての自覚やはりきった気持ちが芽生えてきているように感じます。先輩たちのような相ノ木っ子としての成長が期待でき、これからますます楽しみです。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、朝の検温、多目的教室での職員による給食配膳等を行うC校時を昨年度新たに設定しました。それにより、学習の基礎・基本の定着を目的とした朝のパワーアップタイム（読書タイムをメインにドリルタイムや係活動も行う）をカットせざるを得ず、毎日15分間積み重ねていた読書やドリルによる学びが1年間できまませんでした。その影響からか、昨年度末の学校評価アンケートでは、「自分は読書好きである」と答える子供の数値がここ数年と比べて大きく下がってしまいました。C校時設定時は、感染拡大防止、子供たちの命を守ることが最も大切でしたし、そのための校時の見直しは致し方なかったことでした。しかし、日々の学習習慣付けともなるパワーアップタイムを犠牲にしたことの代償も小さくなく、昨年度の学校運営における大きな課題、また子供たちの学力向上の観点からも見直すべきポイントとなりました。

そこで今年度、いきいきタイムをさわやかランニング重視のコンパクト版にし、10分間の短縮バージョンのパワーアップタイムを設定することにしました。特に、子供たちの読書習慣は大切であり、朝自分で本を選び、落ち着いて読書する態度を再び定着させることが急務です。一人一人が本に向き合うことで、読解力、語彙力、文章力、想像力といった学力向上はもちろん、集中力、主体性、根気強さ、時間や規則を守る態度、精神的安定等の人間力のアップにもつながるなど、読書タイムにはたくさんの利点があるからです。そして、静寂の中担任も一緒になって全校一斉に読書に集中する雰囲気、相ノ木っ子たちの落ち着いた学習態度をさらに押し上げていってくれるものと思います。こうして読書タイムが再始動して1か月が経ちました。子供たちが読書に集中する姿も自然となっていて、少しずつ少しずついろいろな力が育まれているものと思います。

詩人の長田弘さんの「世界は一冊の本」という詩を紹介します。

本を読もう。
もっと本を読もう。
もっともっと本を読もう。
書かれた文字だけが本ではない。
日の光り、星の瞬き、鳥の声、
川の音だって、本なのだ。



わたしたちは、本を通していろいろな体験をすることができます。コロナ禍にあって行けない所にもつながることができるのです。もっと言えば、時代や空間をも超えることができるんですね。

相ノ木っ子のみんな、読書タイムにいっぱい本を読もうね。そして、好きな本をたくさん見付け、いろいろな本の世界に没頭してみよう。

明るい方へたくましく

「学校前に住宅地でもできるのですか？」

久しぶりに来校される方々が、玄関に入ってくるなり、決まってそう話されました。昨年度圃場整備が進み、学校の南側と西側には、一面に広がった土地を見渡すことができましたからです。その傍らには、コンクリートの立派な広い用水路も整備され、来校者が感じたように学校前の様相は一変しました。そして、圃場に水が張られるようになったのですが、いつもだったら聞こえてくるものが聞こえてきませんでした。それは、カエルの鳴き声です。やはり、整備の間にそういった生き物はどこかへ行ってしまったのでしょうか。また、今時分田の水面ぎりぎりに飛び交い、校舎の南側に巣を作っていたツバメの姿も見えませんでした。圃場整備は、農家の方々にとって大切な事業ですから致し方ないことなのですが、これまで学校周辺で見かけてきた生き物たちのことが心配になりました。

昨年度の経験を生かし、コロナ禍にあっても子供たちの教育活動や学校行事を少しでも充実させたいと意気込んだ今年度ですが、早々に全国的な第4波の到来と変異株の脅威、富山県でのステージ2への引き上げに直面してしまいました。予定していた家庭訪問は延期に、町児童陸上競技記録会は各校で実施と、子供たち、保護者の皆さんには残念な影響が出てしまいました。また、これまで以上にマスク脱着時に注意するよう指導し、縦割り清掃やさわやかランニングをしばらく自粛するなど、やはり今年度も、厳しい自粛による感染者の減少と人出の多い時期の感染拡大を繰り返す昨年度と同じなのかとやや気落ちする感があります。

それでもわたしたちは前を向いて生きていかなければなりません。環境の変化と多くの困難等、生きていく上で様々な問題にぶつかっていくでしょうが、それらを乗り越えることで生き抜いていくたくましさを身に付けていくのです。コロナ禍という時代に生まれた子供も大人も、それに負けない強い気持ちと生き抜いていこうとする粘り強さを培っているのだと前向きに捉えたいものです。

水を張った広い圃場には、稲の苗が植えられました。これまでとは違った新たな形での稲作は、近隣の農家の方々にとって、きっとより便利で、効率的なものとなっていくことでしょう。そして、少ないですが、ようやくカエルの鳴き声も聞こえるようになってきました。また、朝には校舎の横を通り過ぎるツバメの姿も見かけるようになりました。広い圃場の稲がだんだん育っていくうちに、学校周りの生き物たちもたくさんもどってくることでしょう。きっと生き物たちはたくましさをもっています。わたしたちも、そのたくましさを見習って、いろいろな変化や逆境に負けずに、明るい方を目指して歩み続けたいものです。

最後に、金子みすゞさんの詩を紹介します。

明るい方へ

明るい方へ。

一つの葉でも

陽の洩るところへ。

藪かげの草は。

明るい方へ

明るい方へ。



行事予定（5月中旬～6月中旬）

5月17日（月）	心臓検診（1年）	6月1日（火）	租税教室（6年）
18日（火）	2年ふるさと学習	2日（水）	眼科検診
20日（木）	耳鼻科検診	7日（月）	研修会のため下校 13:20
27日（木）	全国学力学習状況調査（6年）	8日（火）	6年校外学習（北代縄文館）
	内科検診（4～6年）	9日（水）	4年校外学習（クリーンセンター）

